

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年2月14日

【四半期会計期間】 第53期第3四半期(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

【会社名】 株式会社ヤマザキ

【英訳名】 YAMAZAKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山崎好和

【本店の所在の場所】 静岡県浜松市東区有玉北町489番地の23

【電話番号】 (053)434 - 3011(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役総務部長 佐々木雅通

【最寄りの連絡場所】 静岡県浜松市東区有玉北町489番地の23

【電話番号】 (053)434 - 3011(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役総務部長 佐々木雅通

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第3四半期 連結累計期間	第53期 第3四半期 連結累計期間	第52期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	1,511,822	2,202,953	2,781,757
経常利益又は経常損失() (千円)	76,173	68,702	90,958
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	81,926	64,753	73,639
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	107,155	56,895	52,666
純資産額 (千円)	1,030,359	1,248,375	1,190,390
総資産額 (千円)	4,273,880	4,430,136	4,462,037
1株当たり四半期(当期)純利益又は 1株当たり四半期純損失() (円)	18.82	14.87	16.92
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)		14.81	16.85
自己資本比率 (%)	24.1	28.1	26.7

回次	第52期 第3四半期 連結会計期間	第53期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	2.42	23.54

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3 第52期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。
なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社グループに関する財政状態及び経営成績の分析・検討内容は原則として四半期連結財務諸表に基づいて分析したものであります。なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、緩やかな回復基調が見られたものの、世界経済の減速感等依然として先行きの不透明な状況が続いております。一方で、政府による大規模な景気対策等の方針が好感され、円安、株高の動きを見せるなど景気回復への期待感が高まっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、お客様第一主義に徹し、高付加価値製品の提供やサポート体制の充実等を図り、積極的な営業活動を展開した結果、売上高は22億2百万円(前年同期比45.7%増)となりました。利益面につきましては、生産コストの削減、製造、管理部門における経費削減、業務の効率化等を行った結果、営業利益8千4百万円(前年同期は営業損失4千1百万円)、経常利益6千8百万円(前年同期は経常損失7千6百万円)、四半期純利益6千4百万円(前年同期は四半期純損失8千1百万円)となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

自動二輪車等部品事業につきましては、ベトナムの子会社YAMAZAKI TECHNICAL VIETNAM CO., LTD.における受注が減少し、売上高は5億5千4百万円(前年同期比14.7%減)と減少した結果、営業利益は4百万円(前年同期比78.1%減)となりました。

工作機械事業につきましては、省力化機器、専用工作機械共に受注が増加し、売上高は16億5千5百万円(前年同期比64.6%増)、営業利益7千2百万円(前年同期は営業損失5千万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

総資産は、44億3千百万円となり、前連結会計年度末と比較して3千1百万円の減少となりました。

流動資産は、25億3千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して1千3百万円の増加となりました。これは主に、未収入金等の増加が受取手形及び売掛金、現金及び預金等の減少を上回ったことによるものです。

固定資産は、18億9千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して4千5百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産の減価償却等による減少及び長期営業債権等の減少が貸倒引当金の減少及び保険積立金等の増加を上回ったことによるものです。

(負債)

流動負債は、23億7千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して5千5百万円の増加となりました。これは主に、前受金及び短期借入金等の増加が支払手形及び買掛金、未払費用等の減少を上回ったことによるものです。

固定負債は、8億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億4千5百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものです。

(純資産)

純資産合計は、12億4千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して5千7百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の26.7%から28.1%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は20百万円であります。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、工作機械事業における生産、受注及び販売の実績が著しく変動いたしました。

生産実績は16億4千8百万円(前年同期比91.4%増)、販売実績は16億4千8百万円(前年同期比91.3%増)と著しく増加したものの、受注高は11億3千万円(前年同期比34.2%減)、受注残高は4億7千2百万円(前年同期比58.1%減)と著しく減少しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,703,000
計	15,703,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,495,000	4,495,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	4,495,000	4,495,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		4,495,000		958,400		240,000

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 141,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,353,100	43,531	
単元未満株式	普通株式 200		
発行済株式総数	4,495,000		
総株主の議決権		43,531	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の名義書換失念株式が2,000株(議決権20個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヤマザキ	浜松市東区有玉北町489-23	141,700		141,700	3.15
計		141,700		141,700	3.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、アーク監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,127,649	1,077,730
受取手形及び売掛金	989,656	879,195
製品	31,180	46,807
仕掛品	248,598	281,086
原材料及び貯蔵品	103,529	83,566
その他	19,888	165,268
流動資産合計	2,520,502	2,533,654
固定資産		
有形固定資産		
土地	786,595	786,595
その他(純額)	542,201	482,017
有形固定資産合計	1,328,797	1,268,612
無形固定資産	15,602	15,221
投資その他の資産		
投資その他の資産	635,409	636,561
貸倒引当金	38,274	23,913
投資その他の資産合計	597,134	612,648
固定資産合計	1,941,534	1,896,482
資産合計	4,462,037	4,430,136
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	243,235	73,741
短期借入金	1,865,989	1,996,295
未払法人税等	18,206	2,788
賞与引当金	37,040	15,140
その他	156,825	288,888
流動負債合計	2,321,297	2,376,853
固定負債		
長期借入金	605,561	456,604
退職給付引当金	290,279	294,273
その他	54,508	54,029
固定負債合計	950,349	804,907
負債合計	3,271,646	3,181,761

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	958,400	958,400
資本剰余金	828,006	828,006
利益剰余金	384,873	320,120
自己株式	85,038	85,038
株主資本合計	1,316,493	1,381,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,642	9,150
為替換算調整勘定	139,303	143,669
その他の包括利益累計額合計	126,661	134,519
新株予約権	557	1,647
純資産合計	1,190,390	1,248,375
負債純資産合計	4,462,037	4,430,136

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,511,822	2,202,953
売上原価	1,188,993	1,746,316
売上総利益	322,829	456,637
販売費及び一般管理費		
役員報酬	80,071	81,808
給料及び手当	112,893	106,645
賞与引当金繰入額	3,431	3,482
退職給付費用	3,251	2,599
その他	165,082	177,744
販売費及び一般管理費合計	364,730	372,281
営業利益又は営業損失()	41,901	84,356
営業外収益		
受取利息	2,082	2,523
受取配当金	1,402	2,232
助成金収入	10,312	-
貸倒引当金戻入額	-	14,361
その他	6,407	5,302
営業外収益合計	20,205	24,420
営業外費用		
支払利息	25,916	31,518
為替差損	22,216	2,979
その他	6,344	5,575
営業外費用合計	54,477	40,074
経常利益又は経常損失()	76,173	68,702
特別利益		
固定資産売却益	1,082	1,571
特別利益合計	1,082	1,571
特別損失		
固定資産売却損	13	-
固定資産除却損	855	10
特別損失合計	868	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	75,958	70,262
法人税、住民税及び事業税	3,852	4,152
法人税等調整額	2,115	1,357
法人税等合計	5,967	5,509
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	81,926	64,753
四半期純利益又は四半期純損失()	81,926	64,753

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	81,926	64,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,716	3,491
為替換算調整勘定	20,512	4,366
その他の包括利益合計	25,228	7,858
四半期包括利益	107,155	56,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,155	56,895
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)
当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形割引高	203,604千円	516,897千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
割引手形	50,118千円	134,146千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	76,450千円	65,691千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	自動二輪車等 部品事業	工作機械事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	650,219	861,603	1,511,822		1,511,822
セグメント間の内部 売上高又は振替高		144,123	144,123	144,123	
計	650,219	1,005,726	1,655,945	144,123	1,511,822
セグメント利益又は 損失()	21,695	50,133	28,437	13,463	41,901

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	自動二輪車等 部品事業	工作機械事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	554,485	1,648,468	2,202,953		2,202,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高		6,835	6,835	6,835	
計	554,485	1,655,303	2,209,789	6,835	2,202,953
セグメント利益	4,740	72,925	77,666	6,690	84,356

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	18円82銭	14円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	81,926	64,753
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は 普通株式に係る四半期純損失()(千円)	81,926	64,753
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,353	4,353
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益		14円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(千株)		19
(うち新株予約権)(千株)		(19)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要		平成24年8月3日取締役会 決議により発行したストッ ク・オプション (株式の数 100千株)

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月13日

株式会社ヤマザキ
取締役会 御中

アーク監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士 三 浦 昭 彦 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士 吉 村 淳 一 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士 藤 本 幸 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヤマザキの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヤマザキ及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。